

飼い犬による咬傷事故情報データベース（令和 5 年度第 3 四半期） まとめと考察

1 令和 5 年度（第 3 四半期まで）の傾向

- ・ **事故件数**が直近 2 年間の第 3 四半期時点と比較して**最多**（80 件）（表 1）
- ・ 大型犬等によるケガの程度が重く、第 3 四半期中も重症事故発生（表 2）
- ・ 事故原因は「**係留方法が不適切**」が増加（R4 年度以前の平均：5%→R5 年度：19%）（表 3、4）

2 犬及び飼い主の傾向

- ・ 7 割がオス犬（表 5）
- ・ 飼い主の半数は自身の飼い犬に攻撃性はないととらえている。また、過半数がしつけはできているととらえている（表 6）。
- ・ 犬の表示義務の認知度が低い（約 80%が知らない）（表 7）

【考察】

飼い主は自身の飼い犬が人に危害を加える可能性は低いと考えている。事故防止の啓発を、大型犬等の飼い主はもとより、中～小型犬の飼い主に対しても繰り返し実施していくことが事故件数の減少につながると思われる。

3 近年の傾向

- ・ R4 年度以降、咬傷犬の**屋内飼養率**が増加
（R3 年度以前の平均：48%→R4 年度以降：59%）（表 9）
- ・ R4 年度以降、**自宅（庭含む）で放し飼い中の事故**（※）の割合が増加
（R3 年度以前の平均：3%→R4 年度以降：13%）（表 10）
※日常的に自宅内で放し飼いにしており逸走してはいないものの、訪問者への事故防止対策が取られておらず発生した事故。

【考察】

犬を屋内飼養している飼い主にとっては、（自宅内ではあるが）犬を係留していないことが日常化しており、**来客時には自宅内で犬を制御する必要がある**という認識が不足している。

4 令和 5 年度第 3 四半期までの事故の集計（概要）

各表中の「R5」は第 3 四半期までの合計

●表 1 事故件数

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
犬の登録件数 (A)	122, 651	119, 714	118, 669	117, 533	115, 832	—
届出受理件数 (B) (B/A%)	79 (0.06%)	83 (0.07%)	83 (0.07%)	99 (0.08%)	82 (0.07%)	80 (—)
うち大型犬等の事故件数 (C) (C/B%)	12 (15%)	14 (17%)	12 (14%)	21 (21%)	25 (30%)	15 (19%)

大型犬等の事故割合 5年間の平均 = 19.7%

●表 2 事故によるケガの程度別発生件数 (被咬傷者からの聞き取り結果)

	H30~R2		R3		R4		R5	
	大型犬等	その他	大型犬等	その他	大型犬等	その他	大型犬等	その他
創傷	6 (86%)	12 (66%)	6 (75%)	17 (74%)	9 (56%)	22 (65%)	12 (100%)	36 (73%)
擦過傷	0 (0%)	3 (17%)	1 (13%)	6 (26%)	4 (25%)	9 (26%)	0 (0%)	7 (15%)
内出血	1 (14%)	3 (17%)	1 (13%)	0 (0%)	3 (19%)	3 (9%)	0 (0%)	6 (12%)
合計	7 (100%)	18 (100%)	8 (100%)	23 (100%)	16 (100%)	34 (100%)	12 (100%)	49 (100%)

R5 (Q3 まで) : 大型犬等による創傷のうち 3 件が傷を縫合し、うち 2 件が入院による治療を要した。また、大型犬等による創傷のうち、1 件は複数箇所を咬まれ傷口を縫合できない程の傷を負った。

●表 3 事故原因別発生件数 (飼い主からの聞き取り結果)

	H30~R2		R3		R4		R5	
	大型犬等	その他	大型犬等	その他	大型犬等	その他	大型犬等	その他
犬の制御不足	10 (33%)	36 (37%)	7 (33%)	21 (27%)	9 (36%)	15 (27%)	6 (40%)	22 (33%)
逸走防止対策の不備	4 (13%)	12 (12%)	1 (5%)	12 (16%)	4 (16%)	13 (23%)	3 (20%)	12 (18%)
係留用具の管理不備	3 (10%)	16 (16%)	3 (14%)	7 (9%)	2 (8%)	8 (14%)	0 (0%)	6 (9%)
係留用具の破損	2 (7%)	5 (5%)	2 (10%)	13 (17%)	3 (12%)	5 (9%)	1 (7%)	5 (7%)
係留場所が不適切	2 (7%)	4 (4%)	0 (0%)	7 (9%)	1 (4%)	2 (4%)	0 (0%)	2 (3%)
係留していない	2 (7%)	3 (3%)	1 (5%)	1 (1%)	2 (8%)	1 (2%)	0 (0%)	2 (3%)
係留方法が不適切	1 (3%)	6 (6%)	0 (0%)	3 (4%)	0 (0%)	5 (9%)	4 (26%)	11 (17%)
飼い主に過失なし	6 (20%)	15 (15%)	7 (33%)	13 (17%)	4 (16%)	6 (11%)	0 (0%)	6 (9%)
その他	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (2%)	1 (7%)	1 (1%)
合計	30 (100%)	97 (100%)	21 (100%)	77 (100%)	25 (100%)	56 (100%)	15 (100%)	65 (100%)

●表4 「係留方法が不適切」事例の内訳（R5）

	不確実な 係留方法*1	屋外で係留を 外した*2	来客中の室内 で無係留	係留場所が 不適切	調査中
件数	6	3	3	2	1

*1：一時的につなぎとめたが、ほどけるなどして外れた。

*2：室内から出し入れする際のリードの付け替え等を屋外で行った。

●表5 咬傷犬の性別

	H30~R4	R5
オス（未手術・手術歴不明）	145 (48%)	36 (45%)
去勢オス	69 (23%)	22 (28%)
メス（未手術・手術歴不明）	52 (17%)	9 (11%)
不妊メス	37 (12%)	13 (16%)

●表6 飼い主の自身の飼い犬に対する認識

攻撃性	H30~R4		R5	
	大型犬等	その他	大型犬等	その他
あり	28 (47%)	98 (43%)	10 (67%)	25 (38%)
なし	31 (53%)	130 (57%)	5 (33)	40 (62%)
適切なしつけ				
あり	37 (65%)	147 (71%)	6 (40%)	51 (78%)
訓練中	9 (16%)	9 (4%)	6 (40%)	8 (12%)
なし	11 (19%)	52 (25%)	3 (20%)	6 (9%)

●表7 犬の飼い主における犬の表示の認知状況

	R3	R4	R5
知っていた	22 (35%)	26 (32%)	16 (20%)
知らないが遵守すべき事項と 認識していた	11 (18%)	12 (15%)	16 (20%)
知らない	29 (47%)	43 (53%)	47 (60%)

●表8 犬舎周辺での事故における犬の表示の実施状況

	R3	R4	R5
表示あり	10 (20%)	6 (15%)	12 (37%)
表示なし	39 (80%)	35 (85%)	20 (63%)

●表 9 咬傷犬の飼育場所（一日のうちで飼育場所が変わる場合は双方に計上）

	H30～R3	R4	R5
屋外	121 (52%)	37 (40%)	38 (42%)
屋内	112 (48%)	55 (60%)	53 (58%)

●表 10 事故発生時の犬の管理状況

	H30～R3	R4	R5
係留中 ^{※1}	52 (24%)	13 (16%)	9 (11%)
逸走	70 (32%)	27 (33%)	28 (35%)
係留して運動中	64 (29%)	28 (35%)	26 (32%)
放し飼い ^{※2}	15 (7%)	1 (1%)	4 (5%)
その他（屋内・庭で放し飼い） ^{※3}	6 (3%)	10 (12%)	11 (14%)
その他（集合注射等）	14 (5%)	2 (3%)	2 (3%)

※1 係留中：リード等につないでいる、またはケージに入れていること。柵で囲われた庭や自宅等の屋内で放し飼いの場合は含まない。

※2 放し飼い：必要な係留をしていない場合。

※3 屋内・庭で放し飼い：日常的に柵で囲われた庭や自宅内で放し飼いされているが、敷地外に出ないように対策されている場合。（通常は屋内放し飼いで、係留の一部に不備があり、庭先等敷地内に抜け出て放置した場合は「放し飼い」、敷地外に出た場合は「逸走」に計上。）

●表 11 狂犬病予防注射の実施状況

	R3	R4	R5
実施	84 (93%)	66 (81%)	65 (83%)
未実施	6 (7%)	15 (19%)	13 (17%)

犬種別の登録数と事故数

	犬種	岐阜県の犬の登録状況 (R2年度末)	事故件数 (H30年～R5年第3四半期までの合計)	割合
1	四国犬	26	3	11.5%
2	アメリカンピットブル	72	8	11.1%
3	ロットワイラー	71	5	7.0%
4	秋田犬	439	26	5.9%
5	シェパード	324	15	4.6%
6	ボクサー	48	2	4.2%
7	紀州犬	228	9	3.9%
8	ドーベルマン	73	2	2.7%
9	バーニーズマウンテンドッグ	294	7	2.4%
10	甲斐犬	304	6	2.0%
11	北海道犬	106	2	1.9%
12	ボーダーコリー	836	13	1.6%
13	シベリアンハスキー	195	3	1.5%
14	ダルメシアン	145	2	1.4%
15	スタンダードプードル	143	2	1.4%
16	柴犬	16,166	159	1.0%
17	ゴールデンレトリバー	1,380	11	0.8%
18	ボストンテリア	367	3	0.8%
19	雑種	17,040	111	0.7%
20	コーギー	1,335	5	0.4%
21	アメリカンコッカースパニエル	452	2	0.4%
22	ラブラドルレトリバー	1,821	6	0.3%
23	フレンチブルドッグ	1,559	5	0.3%
24	ビーグル	1,251	4	0.3%
25	ジャックラッセルテリア	1,140	3	0.3%
26	ヨークシャーテリア	1,106	3	0.3%
27	ミニチュアシュナウザー	2,010	5	0.2%
28	マルチーズ	1,881	3	0.2%
29	トイプードル	18,129	19	0.1%
30	チワワ	12,986	15	0.1%
31	ミニチュアダックスフンド	13,281	9	0.1%
32	ポメラニアン	3,554	2	0.1%
33	シーズー	2,524	2	0.1%